

# 開園



## 周年

いつも笑顔あふれる動物園。私たちの思い出がたくさん詰まった安佐動物公園が、9月1日に開園50周年を迎えます。

開園からの歩みを写真と共に紹介します。園安佐動物公園(☎838-1111、☎838-1711)

### 再整備後はカピバラなどを導入予定

キリンやライオンなど約150種類の動物を飼育している安佐動物公園。現在、再整備工事を行っていて、今後、大型の水生動物やカピバラ、トナカイ、オオカミを導入予定です。

### 動物の繁殖・研究も大きな柱

動物園は、絶滅危惧種なども含めた動物の繁殖と調査・研究という大切な役割も担っています。安佐動物公園は、クロサイの繁殖では平成7年にハナが10頭目を出産し、当時の世界記録を樹立。オオサンショウウオの飼育研究は学術的にも高い評価を受けています。

### 安佐動物公園50年の歩み

昭和 43(1968)年 6月	安佐動物公園着工
46(1971)年 9月	開園
49(1974)年 3月	有料入園者数が100万人突破
52(1977)年 4月	クロサイのハナが初出産
60(1985)年 6月	「西園」が開園
62(1987)年 7月	中国重慶市からレッサーパンダとキンシコウが来園
11月	「動物科学館」閉館
平成 3(1991)年 11月	来園者数が1000万人突破
10(1998)年 9月	1980年に孵化した17歳のオオサンショウウオが産卵したことで繁殖年齢が初めて判明
13(2001)年 4月	「ぴーちくパーク」開園
15(2003)年 7月	ASAZOOボランティアが動物解説の活動開始
8月	夜間開園「納涼ナイトサファリ」を初開催
22(2010)年 4月	ライオンの展示施設「レオガラス」を公開
23(2011)年 7月	キリンの展示施設「キリンテラス」を公開
24(2012)年 10月	来園者数が2000万人突破
25(2013)年 3月	チーターの展示を開始
6月	雨の日の来園者サービスとしてアニマルカード配布開始
26(2014)年 5月	飼育員によるコミック本「キリマンジャロ」が広島本大賞に
30(2018)年 9月	長寿世界一のクロサイのハナが死亡(推定52歳)
令和 3(2021)年 9月	開園50周年

## 特集

# ひろしましあさどうぶつこうえん 広島市安佐動物公園 アサズー asazoo

## 50年を振り返ると

50年間の印象的な出来事や動物たちのシーンを写真と共に振り返ります。

昭和46年6月



開園前の昭和46年6月6日、展示動物来園第1陣としてフタコブラクダ3頭がトラックで到着。奥には一般の見学者もいて、のどかな時代が垣間見える

昭和46年～平成8年



入退場門正面にある「ヒビ山の昔と今」

以前のヒビ山。高い塔の向こうのゾウ舎まで見渡せる解放感があった反面、冬は北風にさらされ来園者もヒビも寒そうだったとのこと。後ろにそびえる山は権現山(ごんげんやま)

平成9年～現在



平成9年に建設された現在のヒビ山。巨大な岩山の中ではヒビと綱引きができる装置やヒビの食事風景などをガラス越しに楽しめる

昭和62年7月



重慶市から約4カ月間借り受けたキンシコウに見入る子どもたち

昭和46年～現在



開園時からいるチリーフラミンゴ。推定年齢は52歳以上。野生でも30～40年生きる

平成22年ごろ



器用に棒を振り回すことで全国的に有名になったツキノワグマのクラウド

昭和47年5月



開園翌年のゴールデンウィーク。安佐動物公園バス停に並ぶ人々の数が時代を映し出す。マイカー利用が多い現在ではあまり見ることのできない懐かしい風景

令和2年9月



生まれつき起立できない状態で生まれたアミメキリンのはぐみ。広島国際大学の協力の下、装具開発と治療に取り組んだ結果、11月に装具なしで歩けるように(写真は装具をして訓練中のはぐみ)

平成31年3月



10頭の子を産んで世界記録を作ったクロサイのハナの功績をたたえ、入退場門に設置されたモニュメント

## 昭和27年ごろ 基町にあった「動物園」



昭和26年、動物園開設を望む児童らによる1円募金が始められ、基町の公園内にサルや小鳥などの飼育施設が造られた。その後、安佐動物公園開設へとつながった

## 動物の繁殖と調査・研究



開園当時から取り組んでいるのが、オオサンショウウオの繁殖と調査・研究です。昭和54年、飼育下で産卵(国内では初)。昭和63年には、動物園・水族館での繁殖において優れた功績のあった園館に授与される古賀賞を受賞しました。また、平成7年にはクロサイ、同24年にはグラントシマウマで同賞を受賞しました。

### 利用のご案内

【入園料】大人510円、高校生相当年齢\*とシニア170円(シニア(65歳以上)は公的証明書の提示による年齢確認が必要)、中学生以下無料 ※の人は土曜日(夏・冬・春休み期間と祝・休日は除く)は無料  
【開園時間】午前9時～午後4時半(入園は午後4時まで)  
【休園日】木曜日(祝日の場合は開園)、12月29日～1月1日  
【駐車場】普通車450円  
【所在地】安佐北区安佐町動物園

## 人気動物と飼育員さん



ゾウ舎担当33年の栗原龍太さん(53・左写真)とマルミゾウのメイ(推定22)。アフリカで親とはぐれていた推定1歳のメイが来園した21年前からの付き合いです。飼育する他1頭のサバンナゾウに比べて体の小さいマルミゾウのメイだけは、仕切りのない同じ空間でトレーニングやケアをしています。「体の隅々まで手入れできたり直接触れてトレーニングできたり、メリットは多いですね」と栗原さん。築いてきた信頼関係で、「ゾウの一日消防隊長」などのイベントで名コンビ振りを披露しています。



来園当時のメイと栗原さん(左写真)。今では栗原さんの身長を優に超えたメイ(上写真)



愛くるしい姿や動きで人気のレッサーパンダは、現在7頭を飼育。「この子たちは双子の兄弟のカカとププ。大好物のリンゴを食べさせながら、体に直接触って異常がないか確認(右写真)したり体重測定したりするんですよ」と、担当の坪田麻実子さん(47・左写真)。餌を付けているのは感染しやすい病気ジステンパー。ウイルスを外から持ち込まないよう、長靴の消毒などに気を配っています。



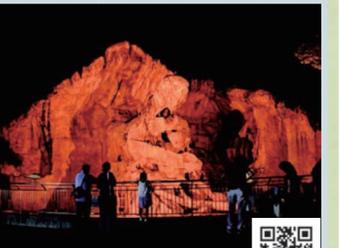
エサを催促するときなどに見せる両足立ち(左写真)。かかとを地面に付けて歩くレッサーパンダは、実は直立が得意なのです



オオサンショウウオの卵。一度に通常500個程度を産卵する。数珠つなぎになって、まるで「真珠のネックレス」のような美しい卵。1個は直径約10ミリ

## もっと遊ぼう あさZOO

### 土日の夜は 納涼ナイトサファリ 夜の動物園を探検だ!



日程や時間はホームページで

### 公式アプリ あさ図鑑asa zoo can



スマートフォンなどにダウンロードすると  
●動物や飼育の情報を動画や写真、音声などで知ることができる  
●GPSを活用した園内マップ機能で効率的に周遊できる  
●エサやり時間などリアルタイムな情報をPUSH通知などの機能で知ることができる など



▲iOS版はこちら



▲Android版はこちら

### ツイッター 公式Twitter

ほぼ毎日更新中! 当日の情報を入手できます。



### 公式動画チャンネル

YouTubeチャンネルで臨場感あふれるさまざまな動画を楽しもう!

